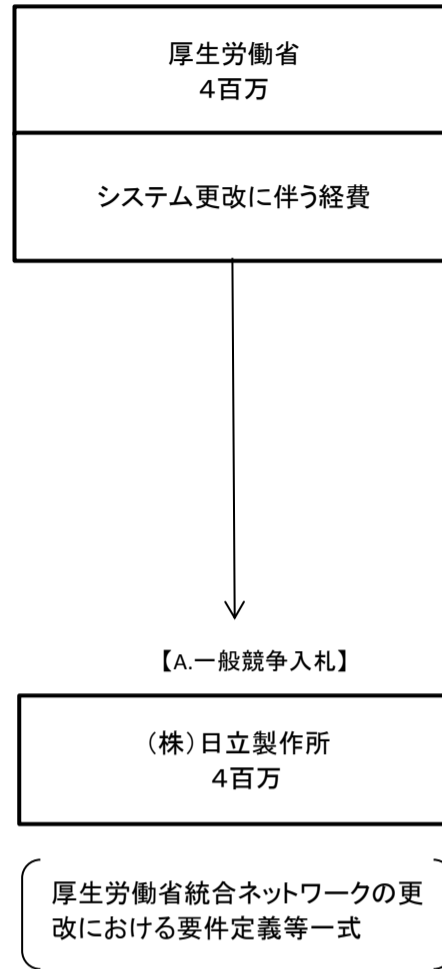


行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	システム更改に伴う経費	担当部局庁	統計情報部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度	担当課室	情報企画室	室長 川上一郎			
会計区分	一般会計	施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	・高度情報通信ネットワーク社会形成基本法(平成12年12月6日法律第144号)第20条及び第35条第2項第5号	関係する計画、通知等	・「電子政府構築計画」(平成16年6月14日一部改定 各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議決定) ・「共通システムの見直し方針」(平成16年3月25日 行政情報システム関係課長連絡会議了承) ・「情報システムに係る政府調達制度の見直しについて」(平成16年3月30日改定 情報システムに係る政府調達府省連絡会議了承) ・「厚生労働省ネットワーク(共通システム)最適化計画」(平成17年5月27日厚生労働省行政情報化推進会議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「厚生労働省ネットワーク(共通システム)最適化計画」(以下「最適化計画」という。)に基づき、厚生労働省の保有する複数のネットワークについて、回線の一元化・集約化等を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①厚生労働本省と地方機関との間の広域通信回線を一元化・集約化する統合回線を構築する。 ②本省及び地方機関が利用する共通サービス機能を厚生労働省LANシステムに構築する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	82	37	52	195	78
		補正予算					
		繰越し等			▲48		
		計	82	37	4	195	78
	執行額	77	36	4			
執行率(%)	93.9%	97.3%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	この事業は、調達の支援を主な目的として実施するものであるため成果目標を設定していない。	成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	この事業は、調達の支援を主な目的として実施するものであるため活動指標を設定していない。	活動実績(当初見込み)	-	-	-	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/ )		算出根拠	-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	雑役務費	194.9	78.3	厚生労働省ネットワーク統合回線更改に係る工程管理支援業務が平成23年度をもって終了するため。			
計	194.9	78.3					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>一般競争入札(最適価格方式)に複数者が応札した結果、大幅な経費削減効果(52百万→4百万)が得られた。今後の調達においても、調達の公平性・透明性を確保し、競争が働く環境整備に努めたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>システム更改に伴う経費については、厚生労働省ネットワーク最適化計画に基づき、円滑にシステム更改を行うために必要な経費であり、また、執行の観点からも適切であるので、今後も引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
予算班記入			

※平成22年度実績を記



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.(株)日立製作所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	厚生労働省統合ネットワークの更改 における要件定義等一式	4			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立製作所	厚生労働省統合ネットワークの更改における要件定義等一式	4	4	75.4
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					